

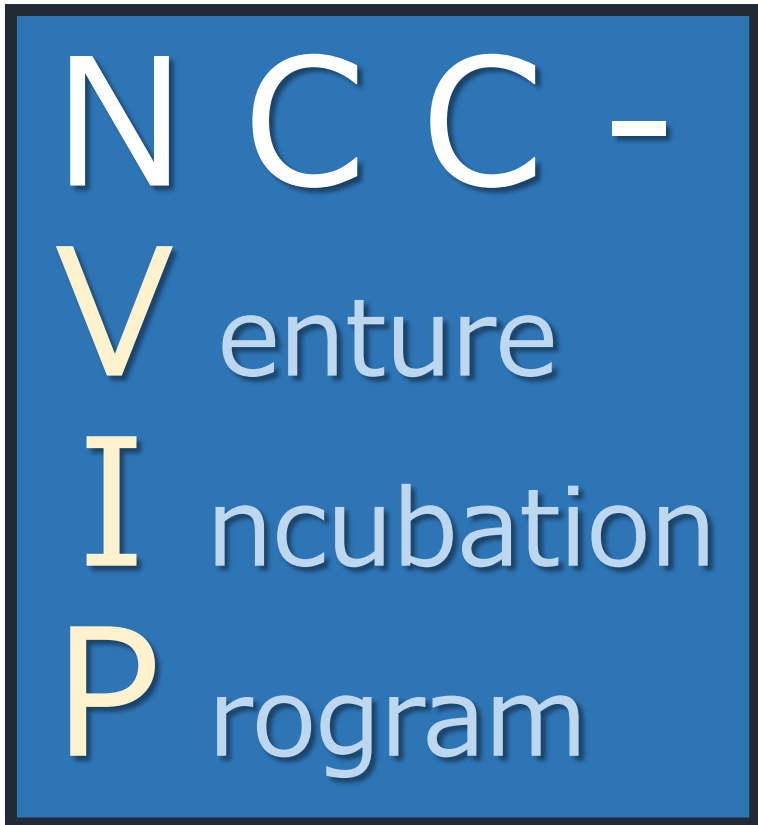
NCC VIP 第II期 成果発表会

事業進捗報告

国立がん研究センター東病院

佐藤 暁洋





目的 対象

NCCが保有する研究資源、支援機能をスタートアップ企業に提供し、革新的医療技術の実用化を促進する

NCCの支援機能に加え、VCの持つ経営支援機能を補完的に組み合わせることで、がんの革新的医療技術の実用化を目指すスタートアップの成功確率を上げる。

対象はNCC内部・外部を問わず応募が可能

がんの治療開発に関係すれば、医薬・医療機器・メドテックまで広く対象とする

NCC Venture Incubation Programのイメージ



ベンチャーキャピタル

ファンディング機能

インキュベーション機能

- ・経営支援・メンタリング
- ・ネットワーク支援
- ・経営人材紹介

創業期

- 事業計画
- ・市場調査
 - ・経営チーム
 - ・開発戦略

薬価コンサル
(厚労省薬価算定経験者)

知財・契約
倫理コンサル

シード

- 医薬品・医療機器
 - ・基礎研究 (POC)
 - ・技術開発
- 非医薬品・医療機器
 - ・技術開発
 - ・プロトタイプリリース (POC検証)

研究開発環境

- ・病院 (ゲノム・組織・医療情報)
- ・EPOC (基礎研究)
- ・NEXT (医療機器)

アーリー

- 医薬品・医療機器
 - ・製造 (GMP)
 - ・毒性 (GLP)
 - ・早期臨床 (GCP)
- 非医薬品・医療機器
 - ・プロダクトリリース
 - ・プロダクト検証

薬事コンサル
(PMDA審査官経験者)

エクспан
ジョン

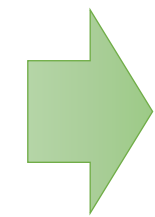
- 医薬品・医療機器
 - ・後期臨床 (GCP)
 - ・製造販売承認
- 非医薬品・医療機器
 - ・PMFの確認
 - ・マネタイズ検証

KOL (臨床医)
(開発戦略コンサル)
(マーケティング)
(臨床開発のリード)



NCCHEは医薬品・医療機器開発のすべてのステージでベンチャー企業を支援可能な機能を保有している。

レイター



IPO or M&A

製薬企業
アライアンス
(M&A マッチング)

臨床研究支援部門
(医師主導治験の実施)

提供価値：ベンチャーキャピタルとNCCが協働することで、バイオベンチャーの成功確率を上げる！！

育成プログラムのイメージ



リードVC (1-数社)

UTEC, BNV, 三井不動産がプログラムに参加

リードVC + 協賛VC (複数) + 企業

- ・ 経営支援/メンタリング
- ・ アントレプレナーシップ教育

・ 出資

- ・ 出資はVCが独自に判断
- ・ プログラム参加VC以外からも資金調達可能

・ 出資、買収

- ・ ピッチイベントでは広く交渉の機会を提供

ベンチャー企業の募集/紹介

選定イベント

- ・ 育成対象ベンチャーを選定 (NCCHE, VC共同)
- ・ 選定時点ではVCからの投資は確約しない
- ・ 5-10社/年程度を選定



育成対象ベンチャー

- ・ NCCとVCが共同で進捗管理・支援
- ・ VCの判断で随時投資を行う (1-2社)
- ・ 教育プログラム
- ・ レンタルオフィス (レジデントタイプ) を利用可能



ピッチイベント (マッチング)

- ・ プログラム開始後半年~1年で実施
- ・ 他のVCからの資金調達
- ・ 製薬・医療機器など企業とのマッチング



202〇期といった年間単位での育成プログラムとして策定

アライアンス契約



 国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East

- ・ 各種コンサル提供
- ・ がん領域の教育プログラム (既存を活用)
- ・ NCCHEベンチャー育成対象に採択

佐藤 暁洋 (Akihiro Sato)

臨床研究支援部門
部門長



- 山形大学医学部卒、同博士（医学）、グロービス経営大学院 経営学修士（専門職）、医師、製薬医学認定医
- 初期研修（東京医療センター）後期研修（山大第3内科）後、JCOG（国がん中央）にて多施設共同臨床試験支援、国がん東にて早期臨床開発研究の支援部門の立ち上げを実施
- 医師主導治験を中心に、医薬品・医療機器開発支援・コンサルテーションを多数実施
- 厚生労働科学審議会 臨床研究部会 委員

合川 勝二 (Katsuji Aikawa)

シーズ開発支援室
室長



- 京大大学院理学部卒、筑波大学大学院博士課程卒（生物工学）
- 武田薬品工業にて、創薬研究に18年間従事、医薬品開発プロセスを一通り経験。プロジェクトマネージャーとして、産学連携業務に携わり、AMEDの産官学共同プロジェクト（GAPFREE2）を、NCCと企業三社（第一三共、アステラス、武田薬品）で推進。
- NCCでは、シーズ育成プログラムの事務局を務め、NCC発のシーズ探索、育成、企業とのマッチングサポートに従事。

太田 大地 (Daichi Ota)

シーズ開発支援室
室員



- 弘前大学農学生命科学部を卒業し、北海道大学医学研究科にて博士課程(医学)を卒業。
- 博士課程を卒業後、同大学にて博士研究員として勤務。
- 国内大手製薬企業のグループ企業にて研究員として勤務し、癌領域における創薬研究に従事。
- NCCでは、シーズ開発支援室、及び橋渡し研究推進センターのプロジェクトマネージャーとして研究者の支援とシーズの育成に従事。

竹下 修由 (Nobuyoshi Takeshita)

医療機器開発支援部 部長
スタートアップ支援室 室長、医師



- 千葉大学医学部卒、同博士（医学）、同客員准教授、日本消化器外科学会指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、同医工連携委員
- National University of Singapore 留学時に、大学発内視鏡手術ロボットベンチャーとの産学連携を経験
- 帰国後、Japan Biodesign 東京大学フェローを修了し、その後(株)Alivas、(株)Jmeesを創業
- NCCではAMEDの手術動画DB構築/AI手術支援PJ/次世代医療機器連携拠点整備等事業の事務局を始め、臨床現場からの革新的医療機器創出や事業化、ベンチャーの育成・連携に従事

杵淵 裕美 (Yumi Kinebuchi)

医療機器開発推進部
AI・デジタル機器開発推進室 室長



- 青山学院大学法学部卒業、グロービス経営大学院 経営学修士（専門職）
- 外資系企業やベンチャー企業を経験後、大手コンサルティング会社にてプロジェクトマネージャーやコンサルタントとして企業の海外進出や海外M&A調査、政府/金融系のグローバル案件等に携わる。その後、大手自動車メーカー 経営戦略室にてCorporate Venture Capital (CVC) を経験。
- 現在、AIを使った医療機器開発のプロジェクトマネジメントや、スタートアップのインキュベーションプログラムなどに従事。

その他、1名が支援中

コンサル テーション

- **薬価**
内容：製品の保険適応と薬価戦略に関するコンサル
担当：1名（厚生労働省保健局での薬価算定業務担当者）
- **薬事**
内容：製造販売承認に向けての薬事戦略に関するコンサル
担当：2名（PMDAでの審査官経験者 抗がん剤、医療機器）
- **開発戦略**
内容：臨床的有用性、適応疾患、開発戦略の相談
担当：東病院内の臨床医（Key Opinion Leader）
+ 必要に応じて、KOLを通じて院外KOLへアクセス
- **その他（知財、倫理など）**
知財戦略・研究倫理についてもNCC内でコンサル可能

NCC側担当者を通じて、プログラム参加者に提供
特に回数制限・料金などは現時点で設定しない。

教育 プログラム

(NCCのオリジナルコンテンツ)

• 臨床研究セミナー

- 内容：がんに関する知識、薬事規制、臨床試験の方法論
- 頻度：1回/月 Web開催

• 医療機器関連セミナー (NEXTセミナー)

- 内容：医療機器開発、薬事規制など
- 頻度：不定期開催

(本プログラムで実施するコンテンツ)

• UTEC提供プログラム

- 内容：資本政策、VCからの調達などスタートアップ業務関連
- 頻度：数回を予定

- その他、後援企業などからも教育プログラムを提供してもらう予定。

3月12日 スタートアップシンポ（公募開始）

国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

UTEC LINK-J

National Cancer Center Venture Incubation Program
ARO×VCで創る新たなエコシステム 3/12 金 13:00 - 16:30

イベントは終了です
National Cancer Center Venture Incubation Program スタートアップシンポジウム ARO×VCで創る新たなエコシステム

【概要】
国立がん研究センター東病院は、「臨床研究中核病院」「ゲノム医療中核拠点病院」にも指定され、Academic Research Organization (ARO) として、がん医薬品・医療機器の早期臨床開発と付随するリバーSTR研究基金を構築してきました。また、近年は大規模ゲノムスクリーニングネットワーク (SCRUM-Japan) を始めとして、医療機器開発、リアルワールドデータ、病理・手術・内視鏡画像データプラットフォームなど、様々な研究開発基盤の整備にも力を入れています。

この度、国内有数のVenture Capital (VC) である東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC) の協力を得て、AROの研究開発支援機能と、VCの経営支援機能を組み合わせ、医薬品・医療機器のみではなくMedTecも対象とし、pre ~ early stage中心にがん関連領域のスタートアップを支援する1年間のプログラムを立ち上げます。説明会以降に、参加するベンチャー企業（起業予定者を含む）を国立がん研究センターの内外を問わず公募する予定です。

第1部は国立がん研究センター東病院と東京大学エッジキャピタルパートナーズのご紹介に加え、当院と共同開発経験のあるスタートアップ経営者の方にもご登壇頂く予定です。また第2部は、応募に向けた具体的な説明会となります。

【開催日時】 2021年3月12日（金） 13:00-16:30

【プログラム】

時間	プログラム
13:00-13:10	開会の挨拶 大学長 国立がん研究センター東病院 病院長
13:10	1 NCC Venture Incubation Programの概要 院長 藤野 国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 部門長
13:20	2 UTECの紹介とその事業化支援内容 副会長 藤野 UTEC代表取締役社長/マネージングパートナー、日本ベンチャーキャピタル協会常務理事
13:45	3 国立がん研究センター東病院における開発の概要 土井 俊彦 国立がん研究センター東病院 研究開発部長 / がん臨床部 科長
14:10	4 医療ITプラットフォームを用いて開発された治療法の実用化と国立がん研究センター東病院 藤白 貴 Sakuten Medical Inc. President 兼 東スエディカルジャパン (株) 代表取締役社長

2021/03/12 (金)
13:00 - 16:30 JST
📅 カレンダーに追加

会場 オンライン

チケット
LINK-J会員 無料
LINK-J非会員 有料
LINK-Jサポーター 無料

主催者
ライフサイエンスイベント
フォロワー数: 8,817

LINK-J

グループをフォロー

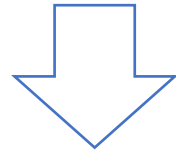
5-6月 書面→対面での選定

応募 12チーム

(内訳)

- 医薬品 4チーム
- 再生医療 3チーム
- 医療機器 2チーム
- ITその他 3チーム

*8チームがAMED/NEDO獲得済み



書類選考 上位 8チーム ヒアリング

6月末～ 6チームに対して支援開始

国立がん研究センターと株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ ベンチャー支援プログラム「NCC Venture Incubation Program」2021年度支援チームを決定

2021年7月1日

国立研究開発法人国立がん研究センターと東京大学エッジキャピタルパートナーズは、革新的な医療技術の実用化を目指すベンチャー企業を支援するプログラム「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program (エヌシーシーベンチャーインキュベーションプログラム)」を2021年4月より開始しました。この度、2021年度支援チームが決定しましたのでお知らせいたします。

応募総数12チーム（医薬品4、再生医療3、医療機器2、ITその他3）から書類選考にて上位8チームがヒアリングに進み、ヒアリングの結果以下の6チームが採択されました。

チーム名	課題名	紹介スライド
セレイドセラピューティクス株式会社	ヒト造血幹細胞増幅技術を用いた再生医療等製品の開発	PDF(556KB)
サイアス株式会社	抗原X-CAR発現手術不能進行・腹膜播種卵巣明細胞腺癌を対象としたヒト同種iPS細胞由来抗原X-CAR再生自然キラーリンパ球 (iCAR-ILC-N101) の安全性、忍容性、薬物動態、有効性を検証する臨床試験の実施とその成果の事業化	-
STAND Therapeutics株式会社	細胞内抗体STAND技術を用いた難治性がん治療薬の開発	PDF(1.3MB)
株式会社PURMX Therapeutics	小分子RNAを用いた核酸医薬の開発	PDF(6.4MB)
国立がん研究センター東京理科大学連携 超人医療プロジェクト	組織深部の可視化による画像手術支援を目的とした腹腔鏡用近赤外ハイパースペクトラルイメージングデバイスの事業化	PDF(4.4MB)
株式会社Surg storage/国立がん研究センター東病院	外科領域の手術動画情報基盤データベース「S-access Database(DB)」の産業利用拡大に向けた事業展開	PDF(669KB)

3月29日 第I期成果報告会 + 第II期公募説明会
～4月15日まで第II期公募

5月 書面→対面での選定

7月 採択チームの決定・公表・支援開始



イベントは終了です
National Cancer Center Venture Incubation Program 第I期
成果報告会 / 第II期 公募説明会～ARO×VCで創る新たなエコシ
テム 第2章始動！～

【概要】
国立がん研究センター東病院は、「臨床研究中核病院」「橋渡し研究支援機関」にも指定され、2021年度より、国内有数のVenture Capital (VC)である東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTEC) と共同で、AROの研究開発支援機能と、VCの経営支援機能を組み合わせた NCC Venture Incubation Program を立ち上げ、6チームの支援を実施しています。

当プログラムでは、VCによる経営支援/メンタリングに加えて、開発を検討している領域の Key Opinion Leader による開発戦略コンサルテーション、各チームが抱える技術的課題を解決する各分野のトップの研究者/企業とのマッチング、規制要件をクリアするための規制当局との相談支援など、各チームが越えなければいけないハードルを、国内トップクラスの ARO である国立がん研究センターと VC が伴走しながら一緒にクリアしていく、そんなプログラムになっています。

2022年度開始の第II期からは、UTECに加え、新たに Beyond Next Ventures 株式会社 が加わり、三井不動産、LINK-J、日本貿易振興機構 (JETRO) も連携する、さらにパワフルなプログラムになります。

第I期は、2021年第1期の振り返りと各参加チームの成果報告会で、参加チームのシーズのご紹介とともに、実際にどんな支援が行われたか? を実施していただけるようなプログラムとなっています。その後、第2期は、第II期公募に向けた具体的な説明会となります。本プログラムに応募をご予定のチームのみならず、各チームのシーズにご興味がある事業会社、VCの関係者、その他少しでもご興味を持っていただいた方はぜひご参加ください。

【第II期の公募開始について】
○募集期間
2022年3月14日 (月)～4月5日 (火) 正午
○ヒアリング審査
4月下旬頃
○採択決定
5月上旬
関連資料は下記からダウンロードできます。
https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/topics/2022/NCCVIP_recruitment_2022/index.ht

2022/03/29 (火)
14:00 - 17:00 JST
会場 オンライン
チケット
LINK-J 会員 満席
LINK-J 非会員 満席
LINK-J サポーター 満席
プレス 満席
主催者
ライフサイエンス イベント
フォロワー数: 12,221
主催者へ連絡 グループをフォロー

応募 21チーム

(内訳)

- 医薬品 5チーム
- 再生医療 1チーム
- 診断機器 1チーム
- 治療機器 3チーム
- Digital Therapy 4チーム
- 診断補助 1チーム
- 医療IT 3チーム
- Webサービス 3チーム

* 9チームが何らかの公的資金を獲得

書類選考

上位 13チーム ヒアリング

7チーム を採択

国立がん研究センター・株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ・Beyond Next Ventures
ベンチャー支援プログラム「NCC Venture Incubation Program」2022年度支援チームを決定

2022年7月4日

国立研究開発法人国立がん研究センターと東京大学エッジキャピタルパートナーズ、Beyond Next Venturesは、革新的な医療技術の実用化を目指すベンチャー企業を支援するプログラム「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program (エヌシーシーベンチャーインキュベーションプログラム) 第II期」を2022年4月より開始しました。この度、第II期2022年度支援チームが決定しましたのでお知らせいたします。

応募総数21チーム(医薬品5、再生医療1、医療機器4、Digital Therapy 4、ITその他7)から書類選考にて上位13チームがヒアリングに進み、ヒアリングの結果以下の7チームが採択されました。

チーム名	課題名	紹介スライド
株式会社イーダーム	がん治療による外観変化の本質的理解による革新的治療から健康長寿まで	-
リベロセラ株式会社	がん細胞やがん微小環境に高発現するGPCRをターゲットとした難治性がん治療薬の開発	PDF(479KB)
チーム超早	特殊ポリマーコーティング材による血中循環腫瘍細胞(CTC)の選択的分離・回収技術	PDF(108KB)
ARNAXワクチンプロジェクト	非炎症の免疫アジュバント・ARNAXの開発	PDF(608KB)
産業技術総合研究所	ガン患者等の精神状態を維持・改善するバイオフィードバック治療のためのアザラシ型ロボット「パロ (PARO)」の治験と実用化	PDF(237KB)
株式会社BiSPEE	反うつ症状をターゲットとした、うつ病に対するVRデジタル療法のがん治療領域における臨床応用開発	PDF(405KB)
DELISPECT	急性期病棟の医療負担を軽減するせん妄対応支援プログラムに関する研究開発	PDF(1MB)

既に各チームへの支援を開始しており、その成果については2022年度末に発表会を開催予定です。

第I期から応募チームが倍増！ → Digital Therapyなど新たなモダリティを開発するチームが多く応募

1)参加チームへの支援実績

() 総数	事務局 (進捗管理 など)	経営 (VC) メンタ リング	臨床/非臨床KOL コンサルティング	薬事コンサルティ ング	外部アドバイザー (知財/戦略など)	その他 #
チームA (10)	5	2	1	1	0	1
チームB (11)	1	1	3	3	0	3
チームC (14)	1	5	0	3	1	4
チームD (9)	6	1	1	0	0	1
チームE (10)	7	0	1	0	0	2
チームF (12)	4	1	6	0	0	1
チームG (7)	2	0	5	0	0	0
合計	73	10	17	7	1	12

* : VCが元々支援している場合は、VCが単独でメンタリングを実施、NCC内部シーズの場合はプログラム外で実施

: 外部企業・JETROとのマッチングなど

○サマリー

・9か月 (7月~3月) で73回の面談を実施 (1.16回/月/チーム)

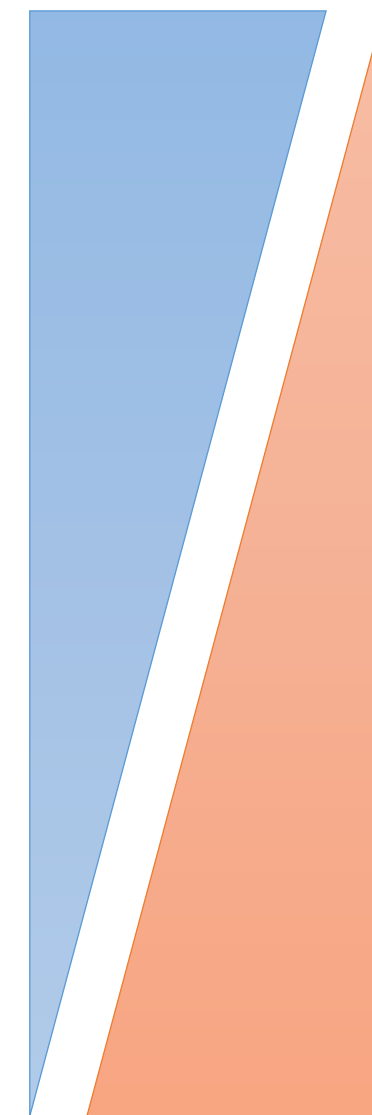
コンサルティング

- ・臨床/非臨床KOLコンサルティングが最も多く実施された
- ・次いでVCメンタリング、薬事コンサルなどが多く実施された

参加チームへの進捗とNCC VIPによる支援内容

項目	チームの達成実績	NCC VIPの貢献
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> 7/7チームで進捗あり <内訳> 臨床開発の進捗： 4/7チーム 技術的課題の進捗： 2/7チーム 技術開発方針決定： 1/7チーム * 2チームがNCCとの共同研究実施 	<ul style="list-style-type: none"> 剤型/規格/製造コンサルテーション： 2/7チーム 非臨床安全性コンサルテーション： 2/7チーム 臨床開発戦略コンサルテーション： 5/7チーム 薬事コンサルテーション： 3/7チーム 外部KOLとのマッチング： 1/7チーム
事業開発	<ul style="list-style-type: none"> 4/7チームで進捗あり <内訳> 特許関連進捗： 4/7チーム Exitの進捗： 0/7チーム 開発戦略の精緻化： 2/7チーム 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画策定支援： 4/7チーム 特許/知財戦略コンサルテーション： 2/7チーム 薬事戦略コンサルテーション： 5/7チーム 共同開発先企業とのマッチング： 1/7チーム JETROとのマッチング： 4/7チーム
組織	<ul style="list-style-type: none"> 外部リソース確保： 1/7チーム 自社リソース拡充： 2/7チーム * 2チームが起業を予定 	<ul style="list-style-type: none"> 教育プログラムの提供： 7/7チーム 外部CROの紹介： 0/7チーム 人材紹介： 2/7チーム
資金調達	<ul style="list-style-type: none"> 新規資金調達の進捗： 5チーム * 1チームがVC調達決定 2チームがVC・製薬と交渉中 2チームが公的資金応募中 	<ul style="list-style-type: none"> VCのKOLインタビュー支援： 0/7チーム 公的資金獲得支援： 3/7チーム VCとのマッチング： 5/7チーム

NCCとしての貢献度



VC/インキュベータの貢献度

2) 提供中の教育プログラム(2022年度)

疾患と臨床試験 (4)

9月13日	疾患と臨床試験シリーズ【頭頸部がん(光免疫治療含)】
10月11日	疾患と臨床試験シリーズ【肺がん】
11月8日	疾患と臨床試験シリーズ【婦人科がん】
12月13日	疾患と臨床試験シリーズ【乳がん】

臨床試験関連(10)

4月14日	【GCP編】GCP Basic 研修
5月9日	がん臨床試験総論
5月17日	WHYからfor Whatへ～QMS実装のための本質的理解とプロセスアプローチ～
5月24日	【GCP編】GCP Follow-up研修
6月14日	安全性評価
7月12日	有効性評価
8月9日	がんゲノム医療の基礎
1月10日	医師主導治験のスタディマネジメント
2月14日	GCPを活用して業務を楽にしよう～その業務、GCP第何条？
3月14日	臨床試験での問題解決法

薬事・知財・その他規制など (7)

5月13日	臨床研究法の改正について
6月1日	【研究倫理編】研究倫理の歴史と基本的な考え方
7月1日	【研究倫理編】2022年4月施行の研究倫理指針と個人情報保護法について
7月6日	【研究倫理編】PPI (Patient and public involvement)について
10月6日	【研究倫理編】研究のわかりやすい説明や公開のために
11月1日	先進医療Bを中心に研究責任者・分担者が知っておくべき最新の先進医療制度
11月9日	Real-World-Evidence: Using OMOP CDM for large scale multi-center research
12月9日	個人情報保護法について・医学系研究に関する倫理指針見直しの方向性
1月30日	遺伝医療・ゲノム医療の研究に関する倫理的配慮

スタートアップ関連(4)

9月29日	【NCC VIP連携】バイオ医薬特許戦略
10月26日	【NCC VIP連携】医師起業家が本音で語るスタートアップ経営医療機器ベンチャーに医師はどう関わるべきか
4月	【NCC VIP連携】(企画中)

25プログラム/12か月(2回/月)を提供

事業開発に役立つ薬事関連に加え、疾患知識についても高評価

第II期の (中間) まとめ

自己評価

- ・技術開発、開発戦略等に関しては、第I期に引き続きNCC内外のKOLによって質の高いサポートが実施され、**チームの進捗(7/7)に貢献した。**
- ・**薬事戦略(5/7)、臨床開発戦略コンサルテーション(5/7)が多く実施されている。**
- ・**資金調達(5/7)についても多くのチームで進捗があり、VCの紹介・マッチングなども第I期に比べて多く支援している。**
- ・経営支援/事業計画立案(4/7)に関してはVC側が大きく貢献した。
- ・ピッチの指導などもVCより提供されている。
- ・ハード面（レンタルスペース、シェアオフィス）のニーズは第I期に引き続き少なかった。

来年度に向けて

- ・より早期（起業前）の支援についても手厚く支援するスキーム構築
- ・JETROに加えて、海外展開支援機能の強化を図る
- ・隣接ラボ・ホテルが本格稼働するため、それらを生かした支援を行っていく。

2023年度第III期 公募の骨子

• 本プログラムの対象

1. 医薬品、診断薬、予防、再生医療、医療機器、医療 IT まで広く対象といたします。
2. 原則として起業前、もしくはアーリーステージのスタートアップを対象といたします。
3. 応募時点で NCC と連携している必要はありません。

• 募集期間

2023年3月29日（水曜日）から4月27日（木曜日）正午まで

*** 応募に関する説明はNCCHE HPよりご覧になれます。**

• 審査

一次選考として書類審査、二次選考は審査員へのプレゼンテーションを行います。

• 審査結果通知

一次選考結果は5月上旬をめどにご連絡いたします。二次選考（Web）は5月中旬に開催予定

公募情報（国がんHPより）

国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

国立がん研究センターは社会と協働し、全ての国民に最適ながん医療を提供します。

国立がん研究センターについて 診療 研究 教育 広報活動 人材募集

中央病院
National Cancer Center Hospital

東病院
National Cancer Center Hospital East

研究所
National Cancer Center Research Institute

先端医療開発センター
Exploratory Oncology Research and Clinical Trial Center

がん対策研究所
Institute for Cancer Control

がんゲノム情報管理センター
Center for Cancer Genomics and Advanced Therapy

NEWS

全て見る 新着情報 イベント・セミナー プレスリリース

2043年3月29日新着情報
国立がん研究センター「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program」第三期参加チームの公募について

2043年3月27日新着情報
モンゴル国立がんセンター総長が来訪しました

2043年3月23日新着情報
遺伝要因がピロリ菌感染の胃がんリスクを高めることを説明

2039年10月29日新着情報
【英語 公式】MASTER KEYプロジェクト（確認用）

2023年4月3日新着情報

国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East

ご来院の方へ 診療科・共通部門 東病院について 取り組み 採用情報

トップページ > NEWS > 2022年度 > 国立がん研究センター「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program」第三期参加チームの公募について

国立がん研究センター「National Cancer Center (NCC) Venture Incubation Program」第三期参加チームの公募について

募集期間：3月29日（水曜日）から4月27日（木曜日）正午まで

ツイート シェアする LINEで送る

国立がん研究センター（NCC）と東京大学エッジキャピタルパートナーズ（UTECH）、Beyond Next Ventures 株式会社（BNV）は、革新的な医療技術の実用化を目指すベンチャー企業を支援するプログラム「National Cancer Center Venture Incubation Program (NCC VIP)」の第三期への参加チームの公募を3月29日より開始します。

2021年度から国立がん研究センター、UTECHが協働でNCC VIPを立ち上げ、2021年度は6チーム、2022年度は7チームの支援を行ってきた本プログラムによって、各チームがクリアすべき、技術的・規制的な課題が大きく進捗しています。第三期となる2023年度も新たに国立がん研究センターの内外を問わず、参加するベンチャー企業（起業予定者を含む）を公募します。

本プログラムの目的

1. NCCが保有する研究資源、支援機能をスタートアップ企業に提供し、NCC 発の革新的医療技術実用化を促進いたします。
2. UTECH、BNVと協力し、事業面での支援も行います。

本プログラムの対象

1. 医薬品、診断薬、予防、再生医療、医療機器、医療 IT まで広く対象といたします。
2. 原則として起業前、もしくはアーリーステージのスタートアップを対象といたします。
3. 応募時点で NCC と連携している必要はありません。

共同研究契約締結から原則1年間。

応募資料

応募方法

申請の際には「2023 年度ベンチャーインキュベーションプログラム応募申請書フォーム」に必要事項を記入し、説明資料（注1）と合わせて、事務局にメールで提出してください（注2）。

- NCC Venture Incubation Program 2022年度 公募要項（PDF：387KB）
- 応募申請書フォーム（Word：23KB）
- 応募申請書フォーム 記載方法（PDF：24KB）
- 公募要項説明（PDF：785KB）

公募説明会資料

NCC+VIP公募要項説明2023

医療機関による動画コンテンツ >

次年度公募要項の説明

国立がん研究センター東病院
臨床研究支援部門 スタートアップ支援室 室長
竹下修由

0:14 / 5:00

提出先

2022年に二つの連携施設が誕生しています！

シーズ近接型

プロジェクトラインナップ(3) (仮称)三井リンクラボ柏の葉



日本を代表する先端医療施設に近接する次世代医療技術・ヘルスケアサービス開発の中核拠点。国立がん研究センターと三井不動産及びH.U.グループホールディングスは、「がんのCure(治療)及びConquer(克服)」を目指し、(仮称)三井リンクラボ柏の葉を軸として、連携・協力します。





●住所/千葉県柏市柏の葉6-6-1(柏の葉) ●建設時期/2021年度(予定)

※図説の情報はすべて公開情報(計画)・予定であり、今後変更する可能性があります。※図説掲載は国土交通省の国土利用・都市計画の図面を基に、用途・権利関係等は変更されており、また、図説により異なる場合があります。公共施設の利用に際しては資料と必ず照合が所望です。

アクセス つばエクスプレス 「柏の葉キャンパス」駅 徒歩6分

柏の葉で新たな診療モデル創出を目指し「(仮称)柏の葉ホテル計画」着工

～がんの「治療」と「研究」を支える病院連携宿泊施設を2022年夏に開業予定～

2020年12月22日
in English

国立研究開発法人国立がん研究センターと三井不動産株式会社は、このたび(12月16日)、国立がん研究センター東病院(以下NCC東病院)の敷地内において、「(仮称)柏の葉ホテル計画」の新築工事を着工したことを、お知らせします。

本計画は、三井不動産がNCC東病院の土地の一部を賃借し、ホテル(計146室(予定))を建築します。竣工後は、株式会社三井不動産ホテルマネジメントが運営を行います。開業は、2022年夏を予定しています。

本計画は、つくばエクスプレス線「柏の葉キャンパス駅」からバスで約6分の、NCC東病院の敷地内に位置します。国内有数のがん専門病院であるNCC東病院には、毎年国内外からのべ30万人弱のがん患者さんが来院しています。一定期間の通院が必要になる場合や遠隔地からの入院あるいは通院など、来訪者のニーズに応え利便性を向上させるため、NCC東病院の敷地内に病院と隣接する形で本施設の建築を決定しました。



(右)完成す。

三井不動産具体的な診療モデル等の導

* 当件に参考リリ

ん研究セ

本計画

LINK-Lab



Coil Terrace (co-working space)

ポイント1 アcademia、研究施設、先端医療施設等の近接地における賃貸ラボ施設

研究スタイルが 変わる	1 シーズ近接ならではの研究開発環境	2 次世代医療技術との連携
	様々な医療に関する最先端の取り組みが行われるシーズ近接のラボ&オフィス。アカデミアや医療施設と近接している強みを活かし、世界に先駆けた研究開発が行われやすい環境を提供します。	世界中からプレイヤー・情報・技術が集まるからこそ、最先端の情報にアクセスすることができます。最新の医療技術を踏まえた研究開発やサービス開発が行われやすい環境を提供します。
連携・協力 内容	"3C"を目指した研究・技術開発の インキュベーション機能やインフラ整備	アカデミア・民間企業に対する コンサルテーションのワンストップ化
	様々なアカデミア機関や民間企業との 連携の構築	

ポイント2 オープンイノベーションの創出

イノベーションを生み出す空間の活用	イノベーションを生み出すネットワークの活用
活発なコミュニケーションやビジネスの活性化を実現するために、本ラボ施設にもコミュニケーションラウンジや会議室を整備。	LINK-Jの活動(ネットワーキング、アクセラレーションプログラムの支援等)を本ラボ施設でも展開。

オープンイノベーションの創出

これらを活用することにより、ライフサイエンス領域の企業やアカデミア、さらには異業種等のプレイヤーが集積し、オープンイノベーションが創出。最先端、医療機器、ヘルスケアIT、個別化医療、再生医療、化学、科学、素材、栄養、健康、美容

ポイント3 充実した研究環境

BSL2[®]対応のウェットラボ仕様

BSL2[®]対応のウェットラボ仕様で研究の幅が広がる。
※一部対応できない区画がある場合があります。

共通実験機器室の整備

整備された共通の実験機器室を利用することで、コストを削減できる。

研究開発の支援機関

研究開発の支援機関が近接しているため、研究の効率化が可能となる。

共有のコミュニケーションスペース

共有の会議室やコミュニケーションラウンジを活用することで、社内外の活発なコミュニケーションを促進する。

ベンチャー向けサービスを提供予定

NCC東病院と柏の葉スマートシティが連携し世界に誇る“新たな病院と街のモデル”を創出

宿泊施設コンセプト①

国内外の患者さん・ご家族・研究者など中長期滞在も受け入れる
病院連携宿泊施設

宿泊施設コンセプト②

5Gなどを導入し
新たな診療モデル創出する
実証フィールド

イノベーションフィールド柏の葉


柏の葉キャンパス駅

柏の葉のヘルスケアデータプラットフォーム

柏の葉データプラットフォーム

隣接ホテルでの遠隔治験実証実験

柏の葉データプラットフォーム(都市OS)におけるマイナンバーカード対応など
ユーザビリティの向上

実施地域	千葉県柏市(柏の葉キャンパス駅周辺)	実施主体	(一社)UDCKタウンマネジメント				
事業概要	柏の葉では、「公・民・学の連携」+「データの活用」により、様々なプロジェクトを分野横断で展開している。柏の葉データプラットフォーム(都市OS)の中核機能である分散型データ連携機能は実装済みであり、連携する都市OS機能や住民向けサービスを順次開発中である。これまでの取組を通じて既に複数の住民向けサービスを提供しており、当該サービスを普及させていくことが大きな課題の1つとなっている。そこで本提案では、都市OSを改修することで、様々なサービスの入り口の役割を担うポータルサービス(スマートライフパス)におけるユーザビリティの向上及び機能強化を図り、実効性の高いサービス普及促進策を展開し、スマートライフパス利用者数の増加を目指す。						
取組内容	(スマートライフパスの現在イメージ) <table border="1"> <tr> <th>【ユーザビリティ向上】</th> <th>【普及展開】</th> </tr> <tr> <td> ①新たな本人確認機能実装 ②UI/UX改善 </td> <td> ③広告宣伝活動等の普及促進策の展開 </td> </tr> </table>			【ユーザビリティ向上】	【普及展開】	①新たな本人確認機能実装 ②UI/UX改善	③広告宣伝活動等の普及促進策の展開
【ユーザビリティ向上】	【普及展開】						
①新たな本人確認機能実装 ②UI/UX改善	③広告宣伝活動等の普及促進策の展開						
【スマートライフパス利用拡大に向けた取り組み】 スマートライフパスの機能改善や普及活動を行うため以下を提案する。 ①スマートライフパスにおけるマイナンバーカードを活用した新たな本人確認機能の実装 ②スマートライフパスにおけるUI/UX改善 ③スマートライフパスの普及促進策の展開(広告宣伝活動等)							



国立がん研究センター東病院と連携したサービス。

国立がん研究センター東病院での診療に合わせ、快適にホテルでご滞在いただけるよう、様々なサービスをご用意しております。

 <p>次回診療予約に合わせ、スムーズにホテルも予約可能</p>	 <p>万が一の際には緊急時対応スタッフがサポート</p>	 <p>センサー機器により心拍数等のバイタルデータを確認可能</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

遠隔チェックイン実証プロジェクト

Grater Tokyo Biocommunity

5.川崎エリア

羽田空港直結のキングスカイフロントなど、研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション都市



6.横浜エリア

産学官金が連携し、健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出するグローバル拠点都市



7.湘南エリア

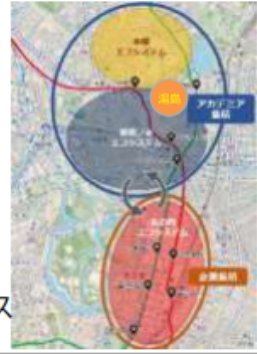
世界最大級のライフサイエンス研究施設を核に、隣接病院や周辺地域とも連携する、製薬企業発の産官学医オープンイノベーション拠点
湘南ヘルスイノベーションパーク



GTBバイオイノベーション推進拠点

3.本郷・お茶の水・東京駅エリア

東大、東京医歯大等、GTB域最大のアカデミア集積地



TIP開設プレスリリースより

4.日本橋エリア

バイオ・製薬産業が集まる国際的ライフサイエンスビジネス拠点と、研究・臨床・情報開発連携機能の集積



LINK-J HPより

1.つくばエリア

筑波大学および多様な国研および企業研究機関等の集積をいかした我が国最大の世界的サイエンスシティ

筑波研究学園都市
パスナビより



2.柏の葉エリア

新産業創造、健康長寿、環境共生を軸とする国際イノベーションキャンパスタウン



柏の葉スマートシティ HPより

8.千葉・かずさエリア

最先端ゲノム研究等による植物・免疫医療等研究推進拠点



かずさDNA研究所



千葉大学

(注1)これら以外に、新宿・信濃町、早稲田、築地・台場、所沢、和光などにも萌芽がみられる

(注2)今後各拠点の発展に伴い、統合・再編成の可能性はある。



ご清聴ありがとうございます。

